

ホストタウンってなんだろう？

国は、東京2020オリンピックパラリンピック大会に向け、全国の自治体と参加国地域の交流を推進しています。相手国と人的、経済的、文化的な交流を図り、相互に応援しながら大会をともに盛り上げていくことを目的とし、国の登録を受けた自治体が「ホストタウン」です。

●オリンピックとの交流を通じ、スポーツの素晴らしさを体験する、伝える ●大会参加国の方々と交流を通じ、外国を知り日本を伝える ●パラリンピアンとの交流を通じ、共生社会の実現を目指す



ルーマニア国立交響楽団と曾我大介氏

はじまりは、 一人の青年音楽家の熱い想いから

武蔵野市とルーマニアの交流のきっかけは、音楽でした。ルーマニア・ブラショフ市に本拠を置く国立交響楽団の指揮者であった武蔵野市出身の曾我大介氏が同楽団への支援を武蔵野市に要請し、その翌年の1992年に同楽団を招聘しコンサートを開催したことがきっかけで交流ははじまりました。こうして、武蔵野市とルーマニア・ブラショフ市は1992年から友好交流を続けてきました。その取り組みが認められ、2016年ルーマニアのホストタウンとして登録されました。

ルーマニア選手と交流しました



日本人監督が率いるルーマニア代表柔道チームが来日しました。迫力のある技を見せてもらったり、稽古を通して選手たちとの交流を図りました。

ホストタウン交流フェス ～Sports for All ルーマニア・パラ～



パラアスリート応援募金を活用し、ルーマニアの柔道と卓球のパラアスリートの武蔵野市来訪が実現しました。2020東京大会に向けての強化練習やパラ選手と市民の交流イベントを開催しました。選手たちやパラ競技への理解を深め、ルーマニアの魅力伝えることができました。

文化イベントを開催しました



交流のきっかけとなった曾我大介氏指揮のもと、ルーマニア・ブラショフフィルハーモニー交響楽団と、一般公募から選ばれた235名の合唱団が共演し、感動の体験をしました。

ルーマニアに行ってきました



29名の市民団がルーマニアを訪れ、友好都市ブラショフ市で日本文化や武蔵野市のホストタウンの取り組みを紹介するイベントを開催し、来場したブラショフ市の方々と交流しました。

教えてアレクサンドラ！

国名◆ ルーマニア România (ロムニア) ※ローマの国という意味
面積◆ 23.8万km² (本州とはほぼ同じ)
地形◆ 山地 31% / 高原・丘陵地 36% / 平野 33%
人口◆ 1976万人 (2016年) (減少している)
宗教◆ ルーマニア正教 85% / カトリック 5% / プロテスタント他
言語◆ 公用語ルーマニア語 / ハンガリー語 ※ルーマニア語はラテン系の言語でイタリア語に最も近い
民族◆ ルーマニア系 90% / ハンガリー系 6% / ロマ 1% その他少数民族
通貨◆ レイ LEI
歴史◆ 106年ローマ帝国によるダキア征服、先住民のダキア人とローマ人をルーツに持つルーマニア人が誕生。14世紀ワラキア公国、モルドバ公国が建国される。15世紀末頃、オスマン帝国の宗主下に入る。1878年独立。1881年ルーマニア王国が発足し、1918年トランシルヴァニアも統一。1947年人民共和国へ。1989年民主革命により共産党一党独裁を廃止し、現在の共和政のルーマニアが誕生。2007年、EU加盟。

みなさんにルーマニアのこと、 もっと知ってもらいたいです！

ルーマニアは北海道とはほぼ同じ緯度で、四季もあります。ブラショフ市の平均気温は東京よりも低く、夏は約12～25℃、冬は約1～7℃です。冬は雪が降りとっても寒いので、遊びに来るのにおすすめの季節は5～10月ですよ！一年中乾燥しています。時差は日本の時間-6時間です。

※10月最終日曜～3月最終日曜日は7時間



▲スキーなども楽しめます



▲湿度が低いので過ごしやすい

ルーマニアってどんな国??

ルーマニア料理、とっても美味しいですよ。

よく食べるのがチョルバという、具だくさんの酸味があるスープです。主食はパンですが、料理によってトウモロコシの粉でできたママリガをあわせることもあります。サルマーレは、ロールキャベツに似た料理で日本人の口にも合うと思います。ルーマニアでは共働きが一般的なので、週末にまとめて料理ができる煮込み料理をよく食べます。食後のデザートでお勧めは、ババナシュという揚げドーナツです。ルーマニアに来たときは、是非食べてみて下さいね。お酒は、ツイカやワインが有名です。(18歳から購入可)



▲チョルバ / 中身は魚や肉など色々あり



▲サルマーレ / ルーマニア風ロールキャベツ



▲熊や鹿などのジビエ料理



▲煮込み料理



▲ババナシュ / 揚げドーナツ



▲ツイカ / プラムの蒸留酒



▲ワイン / 良質なワインの生産地としても有名



ルーマニアの有名な 観光地を紹介します！

ルーマニアには、41の県と首都ブカレストがあります。中央部分にカルパチア山脈が走っており、大きく4つの地域に分けられ、それぞれ異なる自然、文化を持っています。

ワラキア地方



▲首都ブカレスト 210万人の「バルカンの小パリ」と呼ばれる活気ある首都



▲ヤシ ルーマニア最初の大学がある町

ルーマニアの国旗の三色にはそれぞれ意味があるのですが、みなさん分かりますか？



青は空、黄色は穀物・鉱物、赤は、血の色、国民の勇気・独立闘争を象徴しています。ルーマニアは変化に富んだ地形と肥沃な土地に恵まれ、昔から農業が盛んでした。また石油・天然ガス・貴重な金属類などの資源にも恵まれています。しかし、東西文化のぶつかり合う位置であることから、長い間、諸大国の権力闘争に翻弄されてきた歴史を持っています。



▲ブラショフ

武蔵野市の友好都市 ドラキュラ城のモデルになったブラン城が有名



▲シビウ

ヨーロッパ最大規模の演劇祭で有名



▲コンスタンツァ

ルーマニア最大の港町



▲ドナウデルタ

ドナウ川の河口に広がる世界遺産の湿地帯

日本武蔵野センターを紹介します

日本武蔵野センターは、ブラショフ市にある日本語や日本文化を学べる施設です。武蔵野市と友好都市ブラショフ市が1998年に共同で設立しました。現地には日本語教師が武蔵野市から派遣されています。センターには、日本が大好きで、日本語を一生懸命勉強しているルーマニア人の生徒たちが80人程度通っています。ここでは、センターとセンターに通うルーマニアのお友達をご紹介します！



かるたで日本語を勉強



書道や絵手紙



浴衣も武蔵野市民の皆さんから寄付していただきました



ぜひルーマニアに来て、日本武蔵野センターに遊びに来てください！

センターでは色々な日本文化に触れることができるんですよ